

米粉を使ったパンの大会で1位になった女性がいます

河北新報やさしい日本語ニュース 2024年3月20日

鮎川ゆきさん（40歳）は、山形県でパンの店を開いています。鮎川さんのパンは米粉（米を細かい粉にした物）を使って作ります。米粉をたくさん使ったパンは、お餅のように柔らかいです。レーズン（ブドウを干した物）やクルミも入っていて、とてもおいしいです。

13年前、鮎川さんは福島県飯館村でパンを作っていました。でも、2011年3月の東日本大震災で、福島県の原子力発電所（電気をつくる所）では大変な事故が起きました。飯館村と発電所は40キロくらいしか離れていなかったのが危険でした。それで、すぐにお父さんとお母さん、そして二人の子どもたちを連れて車で逃げました。

行こうとした所は、鮎川さんが生まれた秋田県でした。でも、山形県新庄市まで来て、車のガソリンがなくなってしまいました。鮎川さんは「飯館村で生活することはできなくなった。もう、これ以上なくなるものはない。ここで頑張ろう」と思って、山形県に住むことにしました。

新庄市のパン屋で働いた後、2015年に自分のパン屋「あおいそら」を開きました。渉さん（34歳）と結婚して、3人目の男の子が生まれました。渉さんとお母さんの3人で焼くパンは人気がありました。でも、もっと広

い^{みせ}店と家^{いえ}が欲^ほしかったので、2022^{ねん}年に山形^{やまがた}県東根^{ひがしねし}市に引^ひっ越^こしました。

2023^{ねん}年に米粉^{こめこ}を使^{つか}ったパンの大会^{たいかい}がありました。鮎川^{あゆかわ}さんは「くるみレーズン」を出^だしました。すると、33^{みせ}の店^だが出^だした84^こ個^このパン^{なか}の中で1^{ばん}番^{ばん}になった^なのです。

鮎川^{あゆかわ}さんは「13^{ねんかん}年間^{いっしょうけんめい}、一生^{つく}懸命^{つく}にパン^{つく}を作^{つく}ってきました。これまでやっ^つてきたことは間違^{まちが}っていませんでした」と、うれし^{はな}そうに話^{はな}しました。

鮎川^{あゆかわ}さんは山形^{やまがた}県^{けん}だけでなく、仙台^{せんだい}市^しや飯館^{いいたてむら}村^{むら}のイベント^いに行^いってパン^いを売^いることもあります。「私^{わたし}が元氣^{げんき}になるまで^{おうえん}応援^{おうえん}してくれ^{おうえん}た山形^{やまがた}の人^{ひと}たちに、ありがとう^いと言^いいたいです。私^{わたし}のパン^{わたし}を食^たべてもら^たって、山形^{やまがた}の米粉^{こめこ}のおいしさを^{つた}伝えて^{つた}いきたいです」と話^{はな}しています。



【河北新報社提供】

やってみましょう

ぶん よ 読んで、ただ 正しいものに○、ただ 正しくないものに×を書^かいてください。

- ① () こめこ つく 米粉で作るパンは、お餅^{もち}のように柔^{やわ}らかくておいしいです。
- ② () あゆかわ いいたてむら で とき やまがたけん す 鮎川さんは飯館村を出る時、山形県に住むことを決^きめていました。
- ③ () やまがたけん き あゆかわ やまがたけん じぶん や ひら 山形県に来た鮎川さんは、すぐに自分のパン屋を開きました。
- ④ () あゆかわ いま いっしょうけんめい つく よ おも 鮎川さんは、今まで一生懸命にパンを作^{つく}ってきて良^よかったと思^{おも}っています。

書きましょう

あゆかわ 鮎川ゆきさんは、 けん 県でパンの店を みせ います。 ねんまえ 年前は、 ふくしま 福島

けんいいたてむら 県飯館村でパンを いました。でも、げんしりよくはつでんしょ 原子力発電所の で、

やまがたけん 山形県に ことにしました。2023年に ねん 年 つか 使ったパンの

 がありました。その大会で たいかい あゆかわ 鮎川さんのパンが になりました。

話^{はな}しましょう

1. あなたはどんなパンが好^すきですか。好^すきなパン屋^やさんがありますか。
2. このニュースをよ^よんで、どう思^{おも}いましたか。あなたが今^{いま}まで頑^{がんば}張^ばってきたことや、いま^{いま}がん^{ばん}ば^ばしていることについて教^{おし}えてください。